

2023年度 転学部・転学科・編入学選抜〔B日程〕

小論文問題

(経済学部 経済学科)

現在、日本が輸入している外国の農林水産物の対外関税が段階的に引き下げられている。そのことが日本の農林水産物の生産者ならびに消費者にどのような影響を与えるか、余剰分析の手法を用いて考察せよ。また、対外関税の引き下げによる輸入量の増加によって、生産者ならびに消費者に何らかの不利益が生じた場合、その対策を経済学の観点から提示せよ。なお、解答字数は2つの解答を合わせて800字程度とする。

注意

- (1) 答案用紙には受験学科・受験番号だけを記入し、氏名は絶対記入しないこと。
- (2) 答案は横書きとし、問題の字数に従い解答すること。
- (3) 答案は1行目から本文を書き始め、問題は書かないこと。